



講演会の様子。

70人の出席者が和やかに歓談しました。

午後1時より祝賀会が開催され、黒河天文台長が「この70周年を大きな節目として、飛騨天文台とともに、更に新しい研究課題に挑戦し、若い力が一層活躍する教育研究の場として発展させて行きたい」と挨拶し、つづいて、丸山正樹理学研究科長、斎藤衛理学研究科宇宙物理学教室主任、日江井栄二郎明星大学長から祝辞が述べられました。引き続き長尾真総長の祝辞と発声により乾杯した後祝宴に入り、元附属天文台長川口市郎名誉教授らの思い出話が披露され、

9.2 花山天文台一般公開



一般公開。18 cm 屈折望遠鏡ドーム内での太陽撮像観測の紹介。



一般公開。45 cm 屈折望遠鏡による惑星の観望。

70周年事業の一環として、11月20日(土)と27日(土)の両日にわたり、午後2時より花山天文台の一般公開が実施されました。望遠鏡設備の説明、ビデオ・ポスターの展示をはじめ、昼間は太陽の撮像観測、分光観測の実演、夜間は木星、土星、月の観望指導などが行われました。お年寄りから子供まで広い年齢層にわたる合計約450人の参加者があり、盛況でした。とりわけ、20日は快晴に恵まれて、熱心な見学者の希望により、45 cm 屈折望遠鏡による観望が夜10時30分まで延長して行われました。



一般公開。45 cm 屈折望遠鏡ドームへつづく階段に列をつくる見学者。